

# くるまざらボ

## KURUMAZA-LABO

自分でやる防災  
研究・普及所  
AN EXTENSION CENTER  
OF DISASTER PREVENTION BY YOURSELF

事例を知れば備えが変わる！  
大切な人に伝えたくなる大規模災害の「超リアル」

**いま、311から大切なことを学び直そう。**

- ①原子力事故・放射線被ばくの実情と対策**
- ②避難生活の衛生環境の実情と対策**

311から12年。しかし風化しない学びがあります。  
福島県浜通りで内部被ばく検査に従事した医師、  
石巻の浸水地域の避難所運営にあたった市民、  
お二人の担い手から「大切な学び」をうかがいます。

5月30日（火）20：00～21：30

福島県浜通りの現場から学ぶ  
「自分でできる

原子力事故・放射線被ばく対策」

福島県立医科大学

放射線健康管理学講座 主任教授 坪倉 正治さん



6月3日（土）14：30～16：00

宮城県石巻市の現場から学ぶ

「ライフラインが停止した避難生活

衛生環境の実状から対策を考える」

キャンナス東北 コーディネーター

一般社団法人 石巻震災伝承の会 理事 山田 葉子さん



《過去のくるまざらボ 参加者の声》

防災対策は「当事者が本気にならないと続かない」という言葉が心に残った。  
現場にいた人しか語れない生の声を届けることで、本気になれる人が増えると思う。

周りの人との助け合いが本当に必要なので、もっと自分事として考えられるよう知らせていきたい。  
避難所に送る物についても、自分が使うつもりで考えたい。  
他の人に分かりやすくするという事も実践したいと思います。

大規模災害における小さい赤ちゃんや子ども連れのお母さんの被災の実態を知ることができました。  
感染症の広がりかたが恐ろしかったです。でも、なんとかなるんだな、と思える部分もありました。  
被災しても自ら立ち上がって、サポートし合うお母さんたちの様子が1番印象的でした。

『自分でやる防災  
研究・普及所』  
無料会員募集中！



# 「くるまざラボ」～いま、311から大切なことを学び直そう～ 各回内容 & 講師の詳しいご紹介

5月30日 (火) 20:00～21:30

福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 主任教授 坪倉 正治 (つばくら まさはる) さん

東京大学医学部卒業後、千葉県・都内の病院にて血液内科医として勤務。東日本大震災以降、南相馬市立総合病院・相馬中央病院・ひらた中央病院を拠点に主にホールボディーカウンターを用いた内部被ばく検査を中心とする医療支援に従事。診療を行なう傍ら、放射線に関する計測や被曝を心配する被災者の健康相談、福島県および市町村の放射線対策にも関わっている。現在は、福島県立医科大学放射線健康管理学講座主任教授、放射線医学県民健康管理センター健康コミュニケーション室長。

6月3日 (土) 14:30～16:00

キャンナス東北 コーディネーター

一般社団法人 石巻震災伝承の会 理事 山田 葉子 (やまだ ようこ) さん

宮城県石巻市出身・在住。津波で自宅と家業の店舗を失ない渡波小学校に避難。家族の持病の件で避難所の看護師に声をかけたのを契機に、運営スタッフや医療関係者と、避難所住民や周辺の在宅避難者とのパイプ役に。最大時2,000人いた避難者のうち3分の2が顔見知りだった強みを活かし避難所運営の中核を担う。現在は、キャンナス東北の現地採用スタッフとして、地元の住民の方々と共に、仮設住宅や公営住宅と周辺の「地域コミュニティ」を作り、守る活動に従事している。

《聞き手》 『自分でやる防災 研究・普及所』 所長 佐野 哲史 (さの のりひと)

## ■ 概要

「くるまざラボ」(「学び合い」形式のオンライン講座)

～いま、311から大切なことを学び直そう～と題して開催いたします。

放射線対策の専門家と震災直後の現場で活動していた担い手を講師に迎え、大切な学びをうかがいます。

講師の話を一方向的に「聞くだけ」「学ぶだけ」の仕立てではなく、

講師×聞き手、参加者×参加者、参加者×講師など、多彩な形のコミュニケーションの時間を作り、

最後に、ひとりひとりが実践可能な「防災対策」への落とし込みをします。

防災へのきっかけ作りとして、ご夫婦やお子様と一緒になど、ご家族での参加も大歓迎です！

## ■ プログラム

- ・講師×聞き手のトークセッション
  - ・参加者同士の簡単ふりかえりタイム
  - ・Q&A
- ※全体で1時間半の予定です。

## ■ 申込方法

『自分でやる防災 研究・普及所』

オンラインストアからお申込ください。



<https://jibun-bousai.stores.jp>

## ■ 注意事項

- ・開催方法：ライブ配信(Zoom使用)
- ・開催前日までに、お申込時に入力いただいたメールアドレスへ参加方法とURLをご案内します。
- ・イベント時の写真撮影・録画・録音はご遠慮ください。
- ・主催者による記録・広報等のため、イベントの写真撮影・録画・録音をさせていただきます。
- ・お支払いされた方はイベント後、見逃し配信もご視聴いただけます。  
リアルタイムでのご視聴が難しい場合はそちらをお楽しみください。  
(見逃し配信は講座終了後、準備が整い次第メールにてご案内いたします)

## ■ 参加費

定価1,500円/回(税込)

※見逃し配信もございます

## ■ 定員

各回とも30名

## 【お問合】

自分でやる防災 研究・普及所

(運営団体：一般社団法人復興応援団)

メール：info@jibun-bousai.com

電話：090-1398-3510

担当：事務局長 吉高 美帆